

令和4年(2022年)9月

枚方市立小学校
保護者の皆様へ

枚方市教育委員会
おいしい給食課長

中学校給食についてのパブリックコメントの実施について

平素は学校給食の運営に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今後の中学校給食の持続可能なあり方、生徒にとってふさわしい給食のあり方の検討を進めるにあたり、有識者やPTA、学校関係者で構成する「枚方市中学校給食あり方懇話会」からのご意見や令和4年7月に3~6年生の児童・中学校の全生徒及び保護者の皆様を対象に実施した「中学校給食に関するアンケート調査」の結果等を踏まえ、「今後の中学校給食に関する方針(素案)」を作成しました。

この方針(素案)につきましては、9月1日からパブリックコメントを下記のとおり実施しています。多くの皆様からご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。

記

1. パブリックコメント実施期間

令和4年9月1日(木)~9月20日(火)

2. パブリックコメントへの参加方法

下記(1)(2)の「素案リーフレット」に添付のQRコードを読み取ると、市ホームページ内のパブリックコメントのページがご覧いただけます。「今後の中学校給食に関する方針(素案)」をご確認いただき、同ページ内の「枚方市電子申請サービス」から意見をご記入ください。

(1)リーフレット「今後の中学校給食に関する方針(素案)」を作成しました：保護者用

(2)リーフレット「これからの中学校の給食について」：児童用

※市ホームページのほか、輝きプラザきらら、各生涯学習市民センター、市役所本館・別館(1階:受付)、津田支所、香里ヶ丘支所、北部支所に設置している意見回収箱に直接意見提出、または、郵送、ファクス、メールでもご意見提出いただけます。

送付先	枚方市教育委員会 総合教育部 おいしい給食課
住所	〒573-1159 枚方市車塚1丁目1番1号
ファクス	072-851-1744
メール	kyushok@city.hirakata.osaka.jp

枚方市教育委員会 おいしい給食課
TEL:050-7105-8030
FAX:072-851-1744
組織Eメール:kyushok@city.hirakata.osaka.jp

「今後の中学校給食に関する方針（素案）」を作成しました

枚方市教育委員会 おいしい給食課

今後の中学校給食に関する方針（素案）」とは・・・

枚方市の中学校給食は、平成28年度から選択制のランチボックス方式で提供しています。スタートから6年が経過し、社会情勢が変化中、今後の中学校給食のあり方を検討するにあたり、「枚方市中学校給食あり方懇話会」からの意見や「児童・生徒・保護者へのアンケート調査」の結果を踏まえ、中学校給食の全員給食に向けた方針を策定する素案として作成したものです。

中学校給食の喫食率は、平成28年度約 24%から微増傾向で現在約 35%です。

中学校給食の開始以来、喫食率向上のため、これまで次のような取り組みを行ってきました。

〈魅力の向上〉

- ・フルカラー献立表の全生徒・教職員への配布
- ・全国の郷土料理や世界各国の料理を献立に取り入れて提供
- ・ご飯の量の選択が可能

〈利便性の向上〉

- ・インターネット予約
- ・コンビニ・クレジットカード・自動口座振替による決済
- ・自動予約のWEB申請

〈PR・情報発信〉

- ・6年生を対象とした中学校給食試食会の実施
- ・給食PR動画
- ・学校・PTAとの連携強化

社会情勢の変化

- ・自治体の多くがランチボックスから食缶へ
- ・ランチボックス方式のコスト上昇
- ・ランチボックス方式の委託業者が限られてきている
- ・コロナ渦や世界情勢の変化による原油や食材等の価格の高騰 等

➡今後の中学校給食のあり方、生徒にとってふさわしい給食のあり方を検討

＜枚方市中学校給食あり方懇話会における主な意見＞

- 中学生に必要な栄養素を摂取できるのが学校給食 ●成長期に1日3食のうち1食でも給食を摂ることは意義がある ●家庭の食生活をサポートするのが学校給食 ●中学生期は食生活の自立に向けた大切な時期
- 成長、栄養、食育の観点から全員給食が良い ●個に応じた分量が提供できるうえ、食育の観点からも食缶方式が望ましい

＜児童・生徒・保護者へのアンケート調査における主な意見＞

- ◆保護者から「全員給食が望ましい」、「栄養バランスがとれる」「弁当・献立づくりの負担が軽減される」
- ◆中学生から「選択制給食が望ましい」、「量が多い・少ない」
- ◆小学生から 半数弱が「全員給食が望ましい」、半数強が「選択制給食が望ましい」
- ◆児童生徒に共通している意見 給食の良い点：「栄養バランスがとれる」
給食の良くない点：「嫌いな食べ物が出てくる」
- ◆一日の食事回数について：ほとんどの児童・生徒・保護者が「一日3食食べている」と回答している中で、小学校児童で19人、中学校生徒で3人が「一日1食」との回答。

様々なご意見や社会情勢の変化等を踏まえ、

全ての生徒が「中学生にとってふさわしい給食」を食べることができる環境を整備し、
すべての生徒の健全な成長を支えていくために中学校給食の全員給食に向けた取り組みを着実に進めていく必要があります。

全員給食

▶栄養・食育の観点から全員給食
望ましい栄養量の摂取、多様な食にふれる、食に関する重要な教材、望ましい食習慣の形成、食に関する実践力、生徒の食生活の改善

食物アレルギー対応

▶学校給食における食物アレルギー対応指針に則り、食物アレルギーに対応した専用区画などの施設整備、学校・教育委員会・調理場などが連携した体制づくりを進めていきます。

今後の中学校給食

調理場

▶現在の第一学校給食共同調理場に加え、新たな給食センターの整備について PPP/PFA 手法導入を優先的に検討します。
▶センター方式を採用することで
・集中的な衛生管理
・整備期間・コストの大幅圧縮
・厨房機器など設備の充実
・市内または近隣立地のため配送に時間がかからない

給食費

▶1食330円 現行と同額を想定

提供方式

▶「食育」に対応し、個に応じた分量で提供が可能な食缶方式

配膳室

▶食缶方式の食数に応じたスムーズな配膳ができるよう必要な改修を行います。

<今後の予定> ※令和4年(2022年)8月現在

年度	概要	
令和4年度 (2022年度)	8月	今後の中学校給食に関する方針(素案)作成
	9月	<u>「今後の中学校給食に関する方針(素案)」パブリックコメントの実施</u>
	12月	今後の中学校給食に関する方針(案)作成 今後の中学校給食に関する方針 策定、実施計画等の策定
令和5年度 (2023年度)	【PFI事業(新調理場)】	【中学校・第一学校給食共同調理場】
	4月	可能性調査の実施 4月 配膳室調査・各学校調整 先行導入校での全員給食実施に向けた調整
令和6年度 (2024年度)	5月 事業者選定	6月 第一学校給食共同調理場 設計・改修
	6月 新調理場 設計・建設	10月 配膳室設計
令和7年度 (2025年度)	12月 開設準備	7月 配膳室改修 開設準備
		8月 先行導入校で全員給食 実施
令和8年度 (2026年度)	<u>4月 または 8月 全員給食の実施</u>	

9月1日~20日

下欄をご覧ください

●みなさんのご意見をお聞かせください!

パブリックコメント(市民のみなさんからの意見募集)を実施しています。

詳しくは市ホームページまたは広報ひらかた9月号の13ページをご覧ください。



これからの中学校の給食について

いまの中学校の給食は、予約した人が食べるおべんとう形の食器にはいった給食です。コロナウイルスがなかなかおさまらなかったり、食べもののねだんがあがったりなどといったみなさんの生活のまわりのことがまえとは変わってきています。そこで、教育委員会では、これからの中学校の給食をどのようにするのがよいか、いろいろな意見をききながら考えています。

いまの中学校の給食

いろいろな意見・・・

ひとりずつおべんとう形の食器にはいつているので人によって多すぎたり少なかったりする

みんなで給食のじゅんびをしないのでめんどう

ほかに(予約をして)給食を食べているともだちがいない

これからの中学校の給食

みんなが同じものをいっしょに食べます。

小学校と同じようにみんなでとりわけます。

このような給食を考えています。



た きゅうしょく
どうしてみんなで食べる給食なの？

た きゅうしょく
⇒ みんなで食べる給食は…

ちゅうがくせい えいよう
★みんなが中学生にたいせつな栄養がとれます。

ひとり げんき からだ
★一人ひとりの元気な体づくりをささえます。

しょく まな
★みんなで「食」のことを学びます。



きゅうしょく ようい
どのようにみんなで給食を用意するの？

しょうがっこう おな ようい
⇒ 小学校と同じように用意します。

きょうりょく
★それぞれのクラスでみんなが協力します。

しょっかん ひとり しょつき
★食缶から一人ひとりの食器にもりつけます。

た りょう
★それぞれの食べる量をもりつけます。

ようい
★用意ができたならみんなそろっていただきます。

た きゅうしょく
いつごろからみんなで食べる給食になるの？

ぜんいんきゅうしょく きゅうしょく た にんずう
⇒ 全員給食になると給食を食べる人数がふえます。

にんずうぶん きゅうしょく つく あたら ちょうりじょう
たくさん的人数分の給食を作るための新しい調理場

をたてたり、スムーズに給食が受け取れるように

ちゅうがっこう はいぜん じゅんび
中学校の配膳スペースを広げたりして、準備ができたなら

た ぜんいんきゅうしょく かんが
みんなで食べる全員給食にしようと考えています。

れいわ ねん よてい
いまは令和8(2026)年を予定しています。

いけん
●みなさんの意見をきかせてください！

ほうほう
「パブリックコメント」という方法でみなさんからの

いけん あつ ひらかたし
意見を集めています。くわしくは枚方市ホームページや

こうほう がつごう ほごしゃ
広報ひらかた9月号13ページをみてください。保護者

かた き
の方にも聞いてみてくださいね。



←ホームページはこちらから

